

文芸

俳句

小春縫ふ足踏みミシン妣ゆづり

伊藤 敬子

新海苔や炙りて母の口和み

今関満喜子

編み棒のリズムに合わす毛糸玉

魚地 照子

林檎風呂母と入りしことをふと

鹿子木小夜子

駅出れば北風尖るシャッター街

川島 通則

冬来たる野にも山にもわが家にも

向後 寛

八十坂や戦火の往時虎落笛

越川せつ子

大年の急ぐ心や伸す腰

小松 藤男

忖度と言ふ語が歩き歳くれる

佐瀬 輝夫

北風に尻餅着いて日は西に

鈴木とし子

冬夕焼栗山川を染めゆけり

土屋美枝子

音立ててホールインワン冬ぬくし

土屋 義昭

北風に空家いっそう侘しけり

西崎さち子

身のこなし一気に鈍る霜の朝

早川 勇

落葉踏む音の変はつきし山路

藤田 雅夫

短歌

無口なる孫がなぜかにどうやって

こんな可愛い彼女と居るの

越川 義則

針の針孔何とかが通りありがたく

このまま歌も浮かばぬものか

高梨 キヨ

子を抱く孫はすっかり母の顔

曾孫に逢えて楽しみを増し

内藤 くに

台風の吹き返しの中ひつじ穂は

ドミノ倒しのようになびきぬ

浅野 榮子

行商の豆腐屋さんにはちらし添へ

国産大豆の値上りを言ふ

押尾 輝子

抽選に当たりし手帳受け取れば

予定の幾つ浮かびてきたり

水須 俊

雨蛙外の流しの壁につき

薄き茶色になりしこの頃

加瀬 弘子

海からの塩をふくみし台風に

竹の林は枯れ色になり

椎名美枝子

ビート板無しで背泳ぎ出来たと

遠住む息子に電話かけたなり

田崎 尚美

瀬戸川の土蔵街を歩きゆく

酒の麴のほの甘き中

西山満里子

ふちは白に赤紫の菊が咲き

祝ひ花とも見ゆる程なり

鈴木まさ子

線香立てに二人の孫が供えたる

「うまい棒」なるをそのままに置く

斉藤 博

はにわから女人の姿す祭礼に

遠き古代へ思ひを馳せり

芹川 初子

冬の風冷たく乾き肌を刺す

気付けば九十路歩みきたれり

斉藤つね子

作品展

◎町民会館ミニギャラリー

- 1月 水墨画クラブ
- 2月 木目込みクラブ

◎文化会館ロビー展

- 1月 アート押し花クラブ
- 2月 陶芸クラブ

◎銚子商工信用組合展

- 1月 横芝写真クラブ
- 2月 アート押し花クラブ



町民ギャラリー

◎企画展 横芝中学校から「つながる」展

横芝中学校では、生徒が主体となって様々な美術作品を制作してきました。

その中で、自分たちは学校の中だけで育てられているのではなく、周りの環境や地域社会、自然や時間の経過(未来)、そして人々との「つながり」の中で生きているのだということを実感しました。

そこで「つながる」をテーマに様々な作品を制作し、町民ギャラリーで展示しますので、ぜひご覧ください。

と き 1月13日(土)～3月18日(日)

午前9時30分～午後5時30分

ところ 図書館2階町民ギャラリー

問 社会文化課生涯学習班 ☎84-1358